

～運勢の照明化～

様々な人の運勢が光る。名付ける手法「神託造」を活かした新たな照明デザインである。日本において、昔から神社に赴くとよく御みくじをひく慣習がある人もいるだろう。その行為は、独自の和の慣行とも言える。和御みくじ箱で御みくじをひき、運勢を占う。大吉から大凶まで、あらゆる運勢が出る。その時、その場所で、多くの人によりひいた運勢の出る組み合わせは、多様である。大吉が多く出たり、大凶が多く出たりと多様なひき具合である。まさに、その時、その場でのひき具合は運命である。

運命といえるひき具合を光で表現し、残留させる。伝統的な御みくじにおける「神託造」を活用し、運勢を照明化する。引かれた運勢によって、照明が変化する。その結果、その場の光空間も変化する。運勢のひき具合が運命であるように、まさに、その場で生み出された光空間も運命であるだろう。

名づける手法

「神託造」



…上下に棒で囲んだ六角柱の箱から、運勢を示す棒が引出る仕組み



灯みくじ

